

ガジュマルの聲



<教育目標>
と：徳を積み
み：未来に向かって
え：英気を養う

発行
五島市立富江小学校
校長 坂本 憲司

「こども」でいられる喜びを

寒波襲来の2月。積雪対応で大人は大混乱、子供たちは大喜びの1週間でした。寒さ冷たさも何のその。積もった雪に歓声を上げ、雪合戦や雪だるまづくりに興じる子供たちを見ながら、幸せな気持ちになりました。無邪気な子供たちの笑顔は、本当にかわいらしいですね。背伸びして、無理矢理「大人の世界」を覗くのではなく、「子供時代にしかできない」体験をたくさん積ませてやりたいと思いました。子供が「こども」でいられる環境を、学校と家庭が連携しながら整えてやりたいものです。

1月を振り返ると、大きなトラブルもなく、学校全体が落ち着いた雰囲気でした。入学説明会の日に、「新入生」を優しくお世話した5年生。卒業を前にして、しっかりと自律した行動で手本を示す6年生。高学年の頑張りが、学校を落ち着かせています。

富江小学校では、隔月で「心の天気」というアンケートを実施しています。1ヶ月の自分をふり返し、心の状態を「晴れ・曇り・雨」で選び、理由を書かせています。1月の結果概要を見ると、「気分がすぐれない『雨』」がいまませんでした。「気分がいい『晴れ』」を選んだ子供たちの理由は、次のような内容が多かったです。

- 友達と仲良く過ごせているから。
- 勉強が分かるようになったから。
- 頑張っって色々なことができるようになったから。等

中には、次のような内容が見られました。「深いな～」と、ほほえましく思いました。

- ◎ 当たり前、普通に過ごせているから。

「曇り」を選んだ一部の子供に関しては、全職員で情報を共有し、丁寧に見守るようにしています。

学力向上 やればできる!

11月末に実施した標準学力検査CRT（2年生～5年生に実施）の結果が届きました。嬉しいことに、昨年度の結果から、大幅に向上していました。結果の概要をお知らせします。

- ◎ 2年生国語、3年生算数は、全国平均を上回った。
- 他の学年・教科も、全国平均から「マイナス10点」以内までに向上した。

この結果を職員全員で喜びました。これまで取り組んできた結果が出たことに「やればできる!」と自信を深めました。

喜んでばかりはられません。現時点の富江小学校の学力実態をまとめました。

【良くなった点】

- ① 「学びに向かう力」（意欲・姿勢）が向上した。

【課題】

- ① 問題を読めていない。
・何を問われているか、つかめていない。
- ② 活用・応用問題への対応。
・身に付けた知識を活用して、応用問題を解く力が弱い。
- ③ 学習した内容が定着しにくい。

【課題】の「② 活用・応用問題への対応」については、教師が教え過ぎるのではなく、子供たちにもっと考えさせたり、説明させたりする授業を実施する必要があります。

「③ 学習した内容が定着しにくい」については、繰り返し学習する必要があります。家庭学習の「質の向上」も大切です。

今回の結果を確認・分析し、次年度につなげる取組を行います。帰宅後のお子さんの「時間の使い方」について、御確認のほどよろしくをお願いします。